

## 欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2011年5月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2011年5月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽光：フランス】仏トタル、太陽光企業を相次ぎ買収
- 【太陽光：イタリア】京セラ、イタリアの太陽光施設に太陽電池を供給
- 【太陽光：ドイツ】独Qセルズ、日本の住宅用太陽電池市場に参入
- 【風力：デンマーク】ベスタス、中国内モンゴルでの事業加速
- 【風力：イタリア、ルーマニア】伊エネル、ルーマニアで70MWの風力発電所着工
- 【廃棄物発電：英国】伊藤忠、英国の廃棄物処理・発電事業に参入
- 【排出量：欧州】CO2排出評価ランキング発表、欧州トップ300社が対象
- 【排出量：英国】英政府、EUのCO2削減プロジェクト支援に12件申請
- 【排出権取引：欧州】欧州委、2013年以降の無償排出枠割り当て方法を決定
- 【排出権取引：フランス】フランス開発庁、サブサハラと地中海の排出権ビジネスを支援
- 【政策：イタリア】伊政府、太陽光発電の補助金を削減

----- ニュース -----

### 【太陽光：フランス】仏トタル、太陽光企業を相次ぎ買収

仏石油大手のトタルが太陽光発電事業の拡充を進めている。同社は4月14日、フランス電力公社(EDF)傘下の再生可能エネルギー事業会社、EDFエネルギー・ヌーベルから、フランスの太陽光発電設備大手テマソルの国内事業を買収することを明らかにしたのに続き、4月28日には太陽電池市場への戦略的投資として、米太陽電池大手サンパワーの株式60%を取得すると発表した。欧州では最近、エネルギー有力企業による再生可能エネルギー事業への本格参入が顕著になってきており、EDFエネルギー・ヌーベルは4月8日にEDFの100%子会社となったばかり。スペインの電力大手イベルドローラも3月、再生可能エネルギー子会社を吸収する方針を発表している。

ニュースリリース:

<http://www.total.com/en/press/press-releases/consultation-200524.html&idActu=2559>  
<http://www.total.com/en/press/press-releases/consultation-200524.html&idActu=2577>

### 【太陽光：イタリア】京セラ、イタリアの太陽光施設に太陽電池を供給

京セラは4月26日、イタリアの発電事業者エネルミル社が同国北西部のピエモンテ州チリアーノに建設した太陽光発電施設に6MW相当(約27,000枚)の太陽電池モジュールを供給したことを発表した。同社のイタリアにおける受注では最大規模。同施設の年間発電電力量は720万kWhで、2,600世帯以上の電力を賄うことができる見通し。京セラはこれまでも日本国内に加え、スペインやタイなどのプロジェクトに太陽電池モジュールを供給してきた実績がある。

ニュースリリース: [http://www.kyocera.co.jp/news/2011/0403\\_hesk.html](http://www.kyocera.co.jp/news/2011/0403_hesk.html)

#### 【太陽光:ドイツ】独Qセルズ、日本の住宅用太陽電池市場に参入

太陽電池大手の独Qセルズは4月27日、日本の住宅用太陽光発電市場に本格参入したことを明らかにした。同社は2010年1月より東京に事業拠点を設け、太陽電池モジュールの販売を開始していたが、2011年3月初めに設置事業者の販売ネットワークであるQセルズ・マイスター・クラブ(QMC)を設立し、住宅用の太陽光発電キットの販売に乗り出した。今後、QMCの研修に参加し基準を満たした事業者が同社のキットの施工・販売を担当する。現在までに30業者がQMCに登録しており、年内は登録業者の拡充を目指し、日本の太陽電池市場の約9割を占める住宅市場の開拓に本腰を入れる。

ニュースリリース:

[http://www.q-cells.com/en/company/investor\\_relations/corporate\\_news/27042011/qcells\\_enters\\_japanese\\_residential\\_photovoltaic\\_market/index.html?pr=594](http://www.q-cells.com/en/company/investor_relations/corporate_news/27042011/qcells_enters_japanese_residential_photovoltaic_market/index.html?pr=594)

#### 【風力:デンマーク】ベスタス、中国内モンゴルでの事業加速

風力タービン最大手のデンマークのベスタスは5月4日、中国内モンゴル自治区のホイトンシロで計画されている風力発電プロジェクトに容量49MW分の風力タービン供給が決まったことを明らかにした。これは、中国の投資会社Guibang Shengtai Investment (GSI)と交わした契約に基づくもので、同契約には近年、開発が予定されている250MW級のプロジェクトへのタービン供給も含まれている。同社は4月14日にも中国の再生可能エネルギー会社China Datang Corporation Renewable Powerが手掛ける内モンゴル自治区フルンボイル近郊の風力発電プロジェクトに50MWの風力タービンを供給・運営する契約を獲得しており、内モンゴルでの事業を加速させている。なお、ベスタスは5月に入り、米国、トルコ、ブラジルでも風力タービン供給を受注したほか、英国でのタービン工場設立を条件付きで決めた。

ニュースリリース:

<http://www.vestas.com/en/media/news/news-display.aspx?action=3&NewsID=2654>  
<http://www.vestas.com/en/media/news/news-display.aspx?action=3&NewsID=2639>

#### 【風力:イタリア、ルーマニア】伊エネル、ルーマニアで70MWの風力発電所着工

イタリアの電力大手エネルの再生可能エネルギー子会社、エネル・グリーン・パワーは5月3日、ルーマニア東部の町Corugeaで容量70MWの風力発電所の建設に着手したことを明らかにした。2MWの風力タービン35基を設置、完成すると年間発電量は1億8,900万kWhで、約7万世帯の消費電力を賄うことができるとしている。これに伴うCO2削減量は、10万6,000トン。エネル・グリーン・パワーは既にルーマニアで2カ所の風力発電所を運営しており(64MW相当)、そのうち1カ所では110MWの増設計画がある。エネル・グループは2005年にルーマニアの電力事業に参入した。

ニュースリリース:

[http://www.enel.com/en-GB/media/press\\_releases/release.aspx?iddoc=1643015](http://www.enel.com/en-GB/media/press_releases/release.aspx?iddoc=1643015)

#### 【廃棄物発電:英国】伊藤忠、英国の廃棄物処理・発電事業に参入

伊藤忠商事は4月28日、英国の廃棄物処理・発電事業に参入すると発表した。同社は仏スエズ・エンバイロメント傘下の廃棄物処理会社SITA UKおよびインフラ施設開発企業のレンド・リース・インフラストラクチャー・ホールディングスと共に、イングランド北東部タイン・アンド・ウエア州の3つの自治体とPFI(民間資金による社会資本整備)契約を交わした。廃棄物焼却・発電施設と3カ所の廃棄物中継基地を建設する予定で、総事業費7億2,700万ポンドのうち20%を伊藤忠が出資する。同施設では向こう25年間、3自治体から出る一般廃棄物(年間19万トン)を焼却処理し、その熱で発電を行う。発電量は3万1,000世帯の消費電力に相当し、二酸化炭素(CO2)換算で年間6万2,000トンの温暖化ガスの削減につながる見通し。日本企業が英国の廃棄物処理PFI事業に参入するのは初めて。

ニュースリリース: <http://www.itochu.co.jp/ja/news/2011/110428.html>

#### 【排出量:欧州】CO2排出評価ランキング発表、欧州トップ300社が対象

英国の非営利研究機関、環境投資機構(EIO)は4月26日、欧州の大企業上位300社の二酸化炭素(CO2)排出評価ランキングを公表した。この調査では、排出量だけでなく情報の開示

や検証などへの取り組みについても評価する。総合評価で一位となったのは英保険大手のアビバで、オランダ同業のエイゴンが僅差で続いた。金融系以外の企業では通信大手スイスコム、携帯電話で世界最大手のノキア(フィンランド)、英国の衛星デジタル放送BスカイBが上位に入った。排出量の点で有利な非製造業が上位を独占した。情報が入手できた企業の中で排出量が最大だったのは独電力のE.ON、総合評価で最下位はポーランドの鉄鋼企業KGHMだった。なお、情報の開示・検証においては、スペインとイタリアの企業が好成績を納めた一方、スイス、フランスの企業が伸び悩んだ。

ニュースリリース: <http://www.eio.org.uk/etindex.php?page=press>

#### 【排出量:英国】英政府、EUのCO2削減プロジェクト支援に12件申請

英国のエネルギー・気候変動省(DECC)は5月10日、欧州委員会が実施する二酸化炭素(CO2)削減プロジェクトを対象とした資金支援スキーム「新規参入者リザーブ(NER)」に、12件の国内プロジェクトを申請したと発表した。このうちCO2回収・貯留(CCS)技術に関するものが7件、再生可能エネルギーに関するものが5件。同スキームは、欧州連合(EU)の欧州排出権取引制度(EU-ETS)における排出枠売却の歳入の一部を使い域内の新規民間プロジェクトを支援するもの。支援総額は約45億ユーロ(同枠の売却額が1トンあたり15ユーロの場合)で、一加盟国につき最大3件のプロジェクトが対象となる。今回、DECCが申請したプロジェクトには、仏重電大手アルストムと送電大手ナショナル・グリッドによるノースヨークシャーでのCCSプロジェクト、ピールエナジーがスコットランド・エアシャーで計画するCCSプロジェクト、アクアマリン・オイスターとペラムスの両社が手掛けるオークニー諸島沿岸の波力発電、アイラ島の潮力発電などが含まれる。

ニュースリリース: [http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn11\\_39/pn11\\_39.aspx](http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn11_39/pn11_39.aspx)

#### 【排出権取引:欧州】欧州委、2013年以降の無償排出枠割り当て方法を決定

欧州委員会は4月27日、欧州連合の排出権取引制度(EU-ETS)の対象となっている産業施設への2013年以降の無償排出枠割り当て方法に関する詳細を決定した。2013年以降の排出枠の割り当てはオークションが原則だが、EU域外からの厳しい競争にさらされると考えられる産業部門の施設には、2020年まで排出枠の一部が引き続き無償で割り当てられる。これら産業の域外へ生産移管(カーボン・リーケージ)を回避するのが狙い。今回の決定により、カーボン・リーケージのリスクを認められた産業部門の施設には、排出実績のベンチマーク(当該部門における排出量優良施設の実績を基に算出)水準の排出量が2020年まで無償で割り当てられる。リスク対象外とされた産業施設への割り当て枠は2013年はベンチマークの80%、2020年には同30%まで下がる。

ニュースリリース:

<http://europa.eu/rapid/pressReleasesAction.do?reference=IP/11/505&format=HTML&aged=0&language=EN&guiLanguage=en>

#### 【排出権取引:フランス】フランス開発庁、サブサハラと地中海の排出権ビジネスを支援

フランス開発庁(AFD)の民間セクター支援部門フランス経済協力開発振興公社(PROPARCO)は5月12日、フランス預金供託公庫傘下で排出権取引を手掛けるCDCクリマ(CDC Climat)と戦略提携すると発表した。サブサハラ(サハラ砂漠以南のアフリカ大陸)と地中海における二酸化炭素(CO2)削減プロジェクトに共同で参加する。PROPARCOはCDCクリマの炭素資産管理会社の株式25%を取得するほか、サブサハラと地中海における排出削減プロジェクト向けに合計3,000万ユーロ(CO2量330万トン以上に相当)を供給する。これにより、同管理会社が運用する炭素資産は既存分と合わせ9,000万ユーロとなる。

ニュースリリース:

[http://www.proparco.fr/jahia/Jahia/site/proparco/cache/offonce/lang/en/Accueil\\_PROPARCO/Publications-Proparco/News\\_PROPARCO;jsessionid=AF7949C7BAEC90F8EEB1931AD258EC62](http://www.proparco.fr/jahia/Jahia/site/proparco/cache/offonce/lang/en/Accueil_PROPARCO/Publications-Proparco/News_PROPARCO;jsessionid=AF7949C7BAEC90F8EEB1931AD258EC62)

#### 【政策:イタリア】伊政府、太陽光発電の補助金を削減

イタリア政府は5月5日、太陽光発電の補助金の削減を決めた。イタリアの太陽光発電業界は2007年の補助金増額により急成長し、昨年の新設容量はドイツに次いで世界第2位の規

模となった。だが、補助金制度を追加電力料金を通じて支えている消費者の負担を減らすため、補助金縮小が検討されていた。政府は2016年末には累積設置容量が23GWに達すると見ており、同時期までに補助金の総額を年間60～70億ユーロに抑える方針だ。補助金の削減は、6月1日から2013年までの期間に段階的に実施される。業界は制度変更反対している。

ニュースリリース:

[http://www.sviluppoeconomico.gov.it/index.php?option=com\\_content&view=article&viewType=1&idarea1=593&idarea2=0&idarea3=0&idarea4=0&andor=AND&sectionid=0&andorcat=AND&partebassaType=0&idareaCalendario1=0&MvediT=1&showMenu=1&showCat=1&showArchiveNewsBotton=0&idmenu=2263&id=2018913](http://www.sviluppoeconomico.gov.it/index.php?option=com_content&view=article&viewType=1&idarea1=593&idarea2=0&idarea3=0&idarea4=0&andor=AND&sectionid=0&andorcat=AND&partebassaType=0&idareaCalendario1=0&MvediT=1&showMenu=1&showCat=1&showArchiveNewsBotton=0&idmenu=2263&id=2018913)

◆◆「EBS産業レポート」発売中◆◆-----

◎1「欧州の先進環境100社——最新市場動向と注目企業の横顔」 113頁

主な内容

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2009年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2009年実績と成長見通し
- 分野別の成長予測
- 洋上風力、太陽熱、波力・潮力発電の動向

◎2「欧州自動車産業の最新動向 2010-11年版——EUのエコカー戦略」 110頁

主な内容

- エコカーに対するEUの開発支援戦略
- EUと主要国の自動車関連環境政策—CO2排出規制の概要など
- 欧州のエコカー市場の現状と見通し
- 欧州の大手乗用車メーカーのエコカー戦略
- 主要乗用車メーカーの過去1年間の展開と今後の見通し
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向
- 主要自動車メーカーの欧州・ロシアの生産施設立地

◎3「これだけは知っておきたいEUの環境規制 2010-11年版 108頁

主な内容

- EU2020年戦略における環境・気候変動政策のビジョン
- エコデザイン指令～新ErP(エネルギー関連製品)指令
- WEEE/RoHS指令および廃車指令の概要と改正の動向
- REACHの基本と実施状況
- 2020年とそれ以降に向けた温室効果ガス排出削減の目標と議論の動向
- 再生可能エネルギー促進指令
- 建物エネルギー性能指令
- 今後のEU排出権取引の制度詳細 ほか

価格: PDF版 395ポンド/485ユーロ/53,000円(全税別)

(ハードコピー+PDF版: 480ポンド/590ユーロ/65,000円(全税別))

レポートの詳細に関しましてはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.htm>

◆◆当ニューズメール配信サービス希望者募集中!◆◆-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
  - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
  - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。

<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。

[news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)

---

発信元◇EBS(UK)Ltd.

1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM

ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: [news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)

---

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2011 掲載記事の無断転載を禁じます。

---